

ネイチャーウォッチングだより

令和7年8月26日(火)

主催:愛知教育文化振興会

協力:岡崎女子大・短大

8月23日(土)、Bグループの第1回ネイチャーウォッチング「川の生き物調べ」を開催しました。前日まで猛暑が続いていましたが、会場の岡崎市ホテル学校上空には時々雲が広がって日差しを遮り、川での活動にはちょうどよい天気になりました。今回はホテル学校の横を流れる鳥川で、28組の親子(計85名)が川にすむ生き物について知り、実際に採集体験をしました。

講師は、岡崎市立河合中学校の田中啓之先生です。朝礼台の上には、先生が事前に採集された川の生き物が展示されました。今では珍しくなったゲンゴロウやタガメ、ミズスマシなどの水生昆虫も並べられ、観察会が始まる前から子どもたちが興味深そうに見入っていました。



田中先生による川の生き物の解説

田中先生から、この地域の川で観察できる生き物が写真で紹介されました。メダカに似たカダヤシやアメリカザリガニなどの外来種が増えていて、日本の自然環境や生態系への影響が心配されているそうです。また、今年の猛暑が生き物に及ぼす影響にもふれられ、参加者から「先生の話の中で、気候の変化によって、毎年生態系が変化することを知ることができて、とても興味深かったです。(父)」との感想もありました。



タガメ、初めて見た！

続いて、いよいよ川での生き物採集です。鳥川は幅が3～4メートルほどで、水深は深いところで膝くらい。子どもも安全に活動することができます。川底は石が多く、生き物の隠れ場所がたくさんあります。6月から7月にはたくさんのホテルが飛び交うそうです。

川に入って生き物探しが始まると、田中先生に教わった網を使った魚の追い込み方を試して、「ほんとうに魚が入ってきた！」と喜ぶ親子が見られました。カワムツやヨシノボリのほか、コオニヤンマやハグロトンボなどのヤゴがたくさん採集できました。また、石の裏にいるカゲロウやトビケラなどの水生昆虫を見つけ、お腹にたくさんの赤ちゃんガニを抱えたサワガニを発見して大興奮の親子もありました。予想以上に生き物が見つかり、有意義な時間になりました。



石の裏にたくさんいるよ

最後にアンケートから感想の一部を紹介します。

- ・サワガニを大量ゲットできてよかった。(子)
- ・はじめのガイダンスで網を仕掛けておいて、そこに追い込むという話があり、親と子で作戦通りにしたら、本当にカワムツを網に入れることができました！なかなか家族で川に入る体験をしたことがなかったので、貴重な経験をさせてもらえてありがたいです。子どもも冷たい川に喜んで過ごすことができました。(母)

- ・流れが速いところに網を置いていたら魚がすぐに取れたのが面白かった。(子)
- ・魚やカニを捕まえて観察できたので楽しかった。カニの赤ちゃんがお腹にいっぱいいてすごいなと思った。(子)



参加親子 全員集合！

- ・めちゃくちゃ楽しかった(子)
- ・川に行っても魚やカニに注目してしまっていたが、岩の裏にあんなに昆虫がいるとは思わなかった。説明を聞いたり実際に見たりすることですごく勉強になってとっても楽しかったし、もっと知りたいと思いました。ありがとうございました。(母)